

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3270500329
法人名	有限会社 幸久の家
事業所名	グループホーム 陽だまりの森
訪問調査日	平成 20 年 12 月 5 日
評価確定日	平成 21 年 1 月 16 日
評価機関名	株式会社 ワールド測量設計

○項目番号について

外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 10 日

【評価実施概要】

事業所番号	3270500329
法人名	有限会社 幸久の家
事業所名	グループホーム 陽だまりの森
所在地	島根県大田市久利町691 (電 話) 0854-82-4669

評価機関名	株式会社 ワールド測量設計		
所在地	島根県出雲市荻苅町274-2		
訪問調査日	平成 20年 12月 5日	評価確定日	平成 21年 1月 16日

【情報提供票より】(20年 11月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	11 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 11.9

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての全て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要(11月 15日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	11 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.8 歳	最低	81 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	そじき診療所、楫野歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

賑わいを見せる石見銀山遺跡に向かう通り沿いに位置し、豊かな自然に囲まれ、地域に根ざした事業所である。これまでは、地域の子どもたちとの交流を中心に活動を広げてきたが、最近では、さらに「老人会」「自治会」との繋がりを深め、交流活動を徐々に広げ、確実に地域に根付いた事業所となってきたと言える。本人の要望に応じて、夜間であっても外出支援を行う等、関係作りに努めている。全体の仲間意識の向上にも力を入れており、職員のチームワークは抜群である。和やかな雰囲気、利用者を本家の家族のように想い、互いが支えあっていることが要因であろう。この一年は、特に、職員の意識の高まりが強く感じられた。また、利用者家族や地域の皆様の大きな協力もあいまって、前向きな意見が多く聞かれるような環境になってきた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	居心地の良い居室づくりに力を入れ、ホーム内の環境も見直し、前回指摘された浄化槽の臭いは、すぐに換気扇を取り付けて対処された。家族や地域への働きかけも積極的にになり、職員の意識が高まるのと同時に、協力が強まってきている事が感じられる。書式の見直しや他GHとの交流も前向きに行っている。利用者の意向に沿った少人数での外出も増えた。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、各ユニットで、一項目づつ話し合い、職員全員で目線を合わせている。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	利用者も交代で参加している。今年度から全利用者家族を運営委員に任命したこと、運営推進会議への家族参加が非常に増え、多くの意見が出て、実り多い会議となっている。職員の写真と名前の掲示、家族への献立表の郵送、洗濯方法の見直し、家族連絡網作成など、抽出された意見は全職員が周知し、敏速に対応している。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	月末には家族に電話や手紙で状況報告をして、広報誌や行事案内等も送付している。半年に1度は、写真を同封し、利用者の様子を手紙で知らせている。今年度は、ホームの呼びかけで、ご家族の運営推進会議への参加や積極的な意見が増えた。職員の名前と顔が一致しないという意見には、職員の写真と名前を各ユニットに掲示し、ご家族にも送付した。献立表の郵送、エプロンの着用等の要望についても、すぐに検討、対応している。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	恒例の小学校、保育園との合同運動会に老人会も参加され、同世代との交流も広がった。敬老会や文化祭等の地区行事、草刈りやゴミの分別収集に、利用者も参加し、顔馴染みになるなど自治会の一員としての役割が定着してきた。野菜を届けて下さったり、話に立ち寄られる方もあり、地域の人達との関わりが確実に深まっている。小学生にボランティアカードを渡すなどの働きかけも行い、ボランティアは多彩である。特に子供との昔遊び等は利用者が喜ばれた。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「あなたらしく自分らしく」をキャッチフレーズに、解りやすい言葉で、5つの介護理念を掲げている。地域との関わりを深めながら、その人らしい暮らしが続けられるように、全職員が同じ思いで、日々のケアに取り組んでいる。	○	新たに、地域密着型サービスとして、地域生活の継続支援と、事業所と地域の関係強化をイメージした理念を話し合ってもらいたい。「地域の中で」その人らしく生活する支えとなる思いを含んだ理念を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を毎朝唱和して、職員の意識を高めている。カンファレンスや運営推進会議など機会がある度に、理念や方針を伝えている。又、ホーム内への掲示、町内全戸配布している広報誌に載せる等、家族や地域へ伝える努力もしている。	○	玄関に掲示してある理念を記した紙を、家庭的な雰囲気を壊さず、来た人の目をひくような掲示に工夫して頂きたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	恒例の小学校、保育園との合同運動会に老人会も加わられ、交流が広がった。敬老会や文化祭等の地区行事、草刈りやゴミの分別収集に、利用者と参加し、顔馴染みになるなど自治会の一員としての役割が定着してきた。野菜を届けて下さったり、話に立ち寄られる方もあり、地域の人達との関わりが確実に深まっている。小学生にボランティアカードを渡すなどの働きかけも行い、ボランティアは多彩である。特に子供との昔遊び等は利用者が喜ばれた。		これまで、地域の子供中心に交流を広げてきたが、今後は、老人会にも行事案内を送ったり、外出ボランティアをお願いするなど関わりを深めたいと考えられており、期待したいところである。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、各ユニットで、一項目づつ話し合い、職員全員で目線を合わせている。居心地の良い居室づくりに力を入れ、ホーム内の環境も見直し、前回指摘された浄化槽の臭いは、すぐに換気扇を取り付けて対処された。家族や地域への働きかけも積極的なり、職員の意識が高まるのと同時に、協力が強まってきているのが感じられる。書式の見直しや他GHとの交流も前向きに行っている。利用者の意向に沿った少人数での外出も増えた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者も交代で参加している。今年度から全利用者家族を運営委員に任命したことで、運営推進会議への家族参加が非常に増え、多くの意見が出る等、実り多い会議となっている。職員の写真と名前の掲示、家族への献立表の郵送、洗濯方法の見直し、家族連絡網作成など、抽出された意見は全職員が周知し、敏速に対応している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、市から任命された介護相談員が来所して、利用者や職員から話を聞いている。成年後見制度のケースなどは、関係機関と連携をとり、協働している。	○	利用者だけでなく、ご家族の思いを聞いて頂きたい。よって、介護相談員と打ち合わせを行い、年に何回かは、事前に家族にお知らせして、相談出来るよう計らって頂きたい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月末には家族に電話や手紙で状況報告をしている。広報誌や行事案内なども送付すると共に、半年に1度は、写真を同封し、利用者の様子を手紙で知らせている。また、必要時には、随時連絡し、報告や相談をしている。今年度は、運営推進会議への参加や、利用者との外出など、ご家族が来所される機会が増え、職員と顔を合わせ話す事が増えた。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの呼びかけで、ご家族の運営推進会議への参加や積極的な意見が増えた。職員の名前と顔が一致しないとの意見には、ケアの時に危険が伴ったり、邪魔になりやすい名札の代わりに、職員の写真と名前を各ユニットに掲示し、同時に、ご家族にも送付した。献立表の郵送、エプロンの着用等の要望についても、すぐに検討、対応している。	○	家庭のように、その日に食べたい物を皆で作って食べるので、献立通りには運べない事、ネーム入りのユニフォームや揃いのエプロン等は施設的で、グループホームの趣旨に合わないことなど、一般の入所施設や通所サービスとの違い、グループホームの特性を理解して頂ける機会ととらえ、啓発に努めて頂きたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は最小限に努めているが、今年度は、3名の退職があり、1名がユニット間の異動をしている。居室担当を決め、日々の関わりと、定期的な連絡や手紙で、利用者や家族との信頼関係を構築している。異動の際は、しっかり引き継ぎを行い、新入職員は、家族が来られた時に、自己紹介をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務扱いで、希望する研修や勉強会に参加出来るように努めている。「復命書」を見直し、所感を記入する「研修報告書」に変更した。書面や発表など伝達研修も行っている。業務日誌や記録用紙も、ケアに活かせるように見直しをした。全職員が半年ごとに、個人目標を決めて提出し、ホーム長や主任と三者面談を行っている。スタッフ間の関係が良好で気軽に相談出来る体制にある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3ヶ月に1回、市内のGH部会があり参加している。一般職員も参加しての合同勉強会も行われ、親睦を深めている。又、他のGHを数箇所見学に行った。職員が休暇時に自主的に見学に出かける事もあった。利用者の外出時に協力頂き、他GHのバスをお借りした事もあった。その他、しまね小規模ケア連絡会でも有意義な勉強会があり交流の場となっている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居が決まってからの連絡ではなく、待機の段階から、定期的に情報交換をしている。事前の見学、半日づつのお試し利用など、本人の思いを一番に考えたサービス開始に努めている。自宅と行き来して、2ヶ月かけて納得され入居された方もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は、家族のようにいたわり合って生活している。日常の利用者の何気ない言葉に励まされる事もある。調理や盛り付け、味見、台拭きや片付け、掃除や洗濯干しなど、利用者に向けた協力をして頂いている。共同作業が増えた事で、仲間意識が高まり、利用者同士も助け合う姿が見られるようになった。若い職員に食べさせたいという思いで調理をして下さる方もあり、職員は感謝している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメント用紙の取り入れや、毎日の記録用紙や担当業務内容を見直し、両ユニット共通で利用者本人の言葉で記すようにした。又、これまで夕方にまとめて書いていた記録を、その時の利用者の言動や職員の気づきを忘れないように、時間毎に書くようにした。利用者の思いや意向の把握に努める工夫をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	居室担当職員を中心に担当者会議を行い、全職員の意見を取り入れながら介護計画を作成している。困難事例は、家族や運営者も交え、何度も話し合っているが、問題が長期化しているケースもある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月末にケアカンファレンスを行っている。3ヶ月に1回は本人や家族の意向、職員の気づきや最新情報を集め、現状にあったプランに見直している。又、支援内容が変わった時は、随時、担当者会議を開き、見直しを行っている。	○	利用者の不穏な状態が長期化する事は、本人はもとより、他の入居者や家族、職員に与える不安やストレスが心配される。長引く問題については、市や包括など外部も交えてケース検討し、助言を得る事をお勧めする。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	移動手段のない家族を送迎して、毎週宿泊して頂いているケースがある。一時帰宅や家族との外出支援など、利用者や家族の希望を叶える努力をしている。自宅が近くの方はホームに回覧板を届けて下さるので、隣家へ本人と一緒に届けている。退居後も、相談に来られたり、野菜を届けて下さる方もあり、行事案内を送るなど地区住民として関わり続けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師、看護師とも連携が十分とれ、信頼し気軽に相談出来る関係にある。利用者や家族が希望するかかりつけ医に決めており、元々のかかりつけ医に継続して診て貰っている方もある。又、整形や精神科などの専門医を受診している方もある。	○	内服薬のセットは、決まった職員がしているが、利用者到手渡す係は決めていない。誤薬や薬を落としたり、飲み忘れを防ぐ為にも担当者を決め、責任を明確にして頂きたい。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に話し合うが、その後は話題とならない。実際に看取ったケースがあったが、その時になって家族や主治医、職員とよく話し合っ方針を決めていった。家族が交代で泊まれ、協力医とは携帯電話で、いつでも連絡が取れる体制にしていた。	○	職員は不安を感じながらも、長年一緒に生活してきた入居者を、家族と一緒に看取る事が出来、得がたい経験となった。この経験を元に、もっと、早い段階から、繰り返し方針を話し合う機会を持ち、職員間で共有して頂きたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者には丁寧で温かい声がけをしている。プライバシーへの配慮も常に心におき、気づいた時は、職員間で注意があったり、話し合いをしている。職員全員で『敬語を使う』事に決め、1ヵ月後に反省や評価を重ねるなど、職員の意識が高まっている。		職員の意識が高まり、排泄や入浴介助を同性がするようにしたいという思い、居室での排泄時のカーテン利用や下着の干し方など、多くの気づきがあり、具体的な配慮が検討され始めている。早期の実践を期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が排泄パターンを把握していく事で、タイミングよくトイレ誘導ができ、布パンツで過ごされる方が多くなった。家族の宿泊、家族との外出、夜の夕食や自宅訪問、ドライブ等出来る限り利用者の願いを叶えるように支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理専属の職員はなく、全職員が交代で調理している。一人一人の力を活かして、食事の準備を手伝う利用者も多い。手伝えない方でも、目の前で調理をするところを見たり、味見をするなど五感を刺激している。職員1名が検食として、利用者と同じ物を食べている。一方のユニットは、利用者の状態によって、楽しい食事とは言えない雰囲気の日がある。	○	食事は支援の一貫として、利用者と職員が同じ食卓を囲んで同じ物を食べる姿勢を持って頂きたい。入所者にとって食事は喜びや楽しみである。献立作りから利用者の意思を大切に、メニューの工夫をお願いしたい。週に数回外部から食事の発注を検討しているところだが、毎日1品だけでも、利用者と一緒に調理するメニューを残し、余裕を持って利用者と過ごす時間を作って頂きたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	高齢化してきたことや、寒い時期でもあり、積極的に入浴を希望する方は少ないが、利用者が希望されれば、対応している。入浴されない日も、パジャマに着替えて保清に心掛けている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族の宿泊や来所、友達やボランティアの来所、外食や買い物等を楽しまれている。子供達との触れ合いでは、利用者らの格別の笑顔が見られる。半年に1回はユニット全体で外出したり、誕生日には利用者の希望に沿って個別の外出をして喜ばれている。カメラが趣味の方は、好きな花等を撮って部屋いっぱい飾られている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺の散歩や、中には週3回オヤツを買いに近所の店に行かれる方もある。職員は時間にとらわれず、本人の要望に応じて、温泉等ご家族との外出に付き添ったり、夜間であっても外食やドライブ、帰宅などの外出支援を行い、少人数で、ゆっくりと触れ合える外出を心掛けている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけることはない。季節に合わせて、流動的に施錠時間を変更している。身体拘束や虐待防止などの研修も熱心に参加し、鍵をかけることの弊害は全職員が十分理解している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月、夜間想定した避難訓練が実施され、広報にも、その様子を写真で掲載した。訓練後は、職員が個別に反省して改善点を記し意識を高めている。現在、職員専用、家族専用の連絡網を整備中で、今後は、自治会とも連絡網による連携を図り、合同訓練につなげるよう調整中である。	○	現在、事業所以外の場所に水が準備されてはいますが、水以外に食物等の備蓄も揃えられ、事業所に設置して頂きたい。又、長期化した場合を考え、災害時の相互協定を結ぶなどして、あらかじめ複数の受け入れ先を確保する必要があります。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	午前と午後の喫茶の時間には、多くの種類の中から好きな飲み物を注文し飲む事が出来る。便秘が続く時にはミルクやヨーグルトを勧めたり、甘い物が続かないように職員が配慮しながら提供している。献立は食事検討委員会が2週間分づつたてている。	○	家族の希望で献立表を送るようにしたが、今日何が食べたいか、買い物で良い食材があった等の変更があるべきで、GHの食事とはどうあるべきかを話し合ってもらいたい。又、定期的に、市の栄養士に献立を見て貰うといった検討もされており、是非お願いしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中庭には季節によって、つるし柿、大根やさつま芋が干してある。茶碗を洗う音や調理の匂いなどが心地よく五感を刺激し、生活感が感じられる。前回指摘された浄化槽の臭いは、すぐに換気扇を取り付けて対処された。かなり臭いは軽減したが、扉を開放する季節によっては心配される。	○	食事の場から近いこともあり、一方のユニットはトイレの臭いが気になった。排泄の自立に向けて、力を注がれており、自分でトイレに行かれる方が多くなったので、使用された後は気を配って頂きたい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入口には手作りの名札がかけられ、畳やカーペットを敷いたり、冷蔵庫を置く等、利用者の希望に沿った居室になっている。前回気になった、居室とホールの温度差も無くなり、居室の環境を工夫して、居心地を良くする事で、居室で休憩される方も多くなった。		